

I 略年譜

年月日	
1949(昭和24). 秋	動物園開設地を現在地に決定（調査費約30万円計上）
1950(昭和25). 4.	円山公園及び児童遊園経営に着手（5ヶ年計画で、4,050万円の事業費計上）
1951(昭和26). 5. 5	札幌市円山児童遊戯施設として開設 収容動物3種4点（オオワシ1羽、エゾシカ1頭、ヒグマの子2頭）遊戯施設（仲よし電車、豆自動車）
9. 15	札幌市円山動物園に改称し、初代園長に中俣充志就任 敷地33,000m ² 、収容動物20種43点、遊戯施設（仲よし電車、豆自動車、空中観覧車、コンビネーション）
1952(昭和27). 7. 13	入園料徴収を始める〔大人20円、子供（12歳未満）10円〕 収容動物78種200点（ライオン、トラ、キリン、シマウマ等）
1953(昭和28). 4. 1	園の敷地を132,000m ² に拡張し、第1期建設始まる
1954(昭和29). 6. 6	世界動物大博覧会開催
1955(昭和30). 12. 28	博物館相当施設の指定を受ける（文部省告示第108号）
1956(昭和31). 春	動物の芸を公開する（ゾウ、チンパンジー、アシカ、カンガルー等昭和41年頃まで続く）
1957(昭和32). 4. 1	園の敷地を224,000m ² に拡張し、第2期建設始まる
1961(昭和36). 4. 1	学齢未満の入園料無料化
6. 2	北海道博物館協会の設立と同時に加入
1964(昭和39). 8. 1	二代目園長に中川敏就任
1965(昭和40). 4. 24	開園15年記念行事「マジックフェア」開催（9月30日まで）
1966(昭和41). 4. 1	管理業務の一部委託（園内清掃、収売札、ボイラー運転、飼料運搬）
11. 30	熱帶動物館完成（冬期開園実施）
1968(昭和43). 1. 9	姉妹都市ポートランドにオジロワシ1羽贈る（昭和34年11月17日提携）
6. 1	札幌市創建100年記念行事「タイガーショー」「世界の爬虫類展」開催（8月18日まで）
9. 24	大型遊戯施設設置（飛行塔、観覧車、ティーカップ、チェーンタワー）
1969(昭和44). 7. 1	「世界の貝殻展」開催（8月17日まで）
11. 8	白熊舎（放養式）完成
1970(昭和45). 4. 25	開園20年記念事業「走れ超高速展」開催（6月28日まで）
7. 4	開園20年記念事業「世界の昆虫展」開催（8月30日まで）
1971(昭和46). 11. 17	姉妹都市ポートランドへエゾタヌキ1つがいを贈る
1972(昭和47). 2. 2	冬季札幌オリンピック開催の折、天皇皇后両陛下ご来園
9. 15	市内在住65歳以上の敬老手帳所持者の入園料無料化
1973(昭和48). 4. 1	中学生以下の入園料無料化
8. 30	姉妹都市ポートランドからビーバー1つがいの寄贈を受ける
1974(昭和49). 6. 15	道内初のゴリラ1つがい入園
6. 20	熱帶植物館、爬虫類館、昆虫館完成
9. 25	姉妹都市ポートランドへエゾタヌキ1つがいを贈り、ビーバー1つがいの寄贈を受ける
1975(昭和50). 1. 1	札幌市円山動物園協会設立
7. 1	開園25年記念「世界の貝殻展」開催（8月31日まで）
1977(昭和52). 11. 17	類人猿館完成
1978(昭和53). 6. 12	猛きん舎完成
9. 1	三代目園長に金森裕就任
12. 26	白鳥舎完成
1979(昭和54). 7. 19	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹動物園提携記念に、同園からアメリカクロクマ2頭の寄贈を受ける
8. 1	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹動物園提携記念入園券発売（8月1日～9月3日まで74,800枚）
8. 5	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹提携調印式を当園で行う
11. 14	動物病理研究室完成
1980(昭和55). 1. 23	姉妹都市ミュンヘンからヨーロッパオオカミ1つがいの寄贈を受ける (昭和47年8月28日姉妹都市提携)
2. 26	円山動物園のシンボルマーク決まる（開園30年記念として一般公募）
3. 28	世界のクマ館完成
5. 17	開園30年記念事業として入園者報償、モデル撮影会、入園記念ポストカードプレゼント等を行う
12. 15	こども動物園の拡張と増改築を行う
12. 21	オオカミ放養場完成
1982(昭和57). 10. 9	サル山完成
1983(昭和58). 2. 1	イヌワシ入園（大韓民国全州市公園管理事務所との動物交換）
4. 9	メガネグマ入園（ブラジル国ポートアレグロ・リオグランデ・ド・スル動物園から）
9. 20	友好都市瀋陽市へマントヒヒ1つがい、チリーフラミンゴ2羽を贈り、マナヅル及びアオカケイ1つがいの寄贈を受ける

1983(昭和58). 10. 1 大型遊戯施設（観覧車、メリーカップ）更新
12. 23 洋蘭温室完成

1984(昭和59). 10. 22 モンキーハウス完成

1985(昭和60). 7. 1 四代目園長に金田壽夫就任
10. 10 回転飛行塔（スペースシャトル）更新

1986(昭和61). 12. 18 総合水鳥舎完成

1987(昭和62). 6. 1 建設局管理部から環境局緑化推進部へ所属替えとなる
7. 31 メリーゴーランド更新

10. 18 姉妹都市ノボシビルスク市からペルシアヒョウ1つがいとヨーロッパカワウソ1頭を受ける（動物交換による）

1988(昭和63). 2. 5 タスマニアデビル3頭をオーストラリア・タスマニア州から寄贈を受ける
12. 11 円山動物園長期総合計画策定

1989(平成元). 9. 15 前年2月に贈られたタスマニアデビルにつづいて、ウォンバット、ワラビーなど14種の動物が贈られることになり、これらの動物を収容するためタスマニア館が完成

1991(平成 3). 3. 20 動物科学館完成、こども動物園の拡張、大型遊戯施設（エレファン）更新

1992(平成 4). 4. 1 五代目園長に森永修正就任
10. 30 レストハウス（休憩所）完成

1993(平成 5). 3. 19 堆肥舎施設完成

1994(平成 6). 4. 1 六代目園長に福井正継就任
6. 17 円山動物園遊戯施設廃止

1995(平成 7). 3. 16 热帶鳥類館完成
3. 28 西門改築完成
3. 31 円山公園第1駐車場改築完成
4. 29 子供の国遊園地「キッドランド」中島公園から移転オープン（株札幌振興公社）

1996(平成 8). 4. 1 七代目園長に長尾章郎就任

1998(平成10). 4. 1 動物園センター完成
5. 28 （社）日本動物園水族館協会総裁 秋篠宮殿下、総会ご出席の折、妃殿下とともにご来園

2000(平成12). 4. 1 八代目園長に大内格之就任
6. 21 入園者四千万人達成
9. 9 円山動物園開園50年記念事業としてチンパンジー館（愛称マチカ）オープン（当日入園料無料）

2002(平成14). 4. 1 九代目園長に北村健一就任
5. 17 開設時より飼育してきたオオワシ1羽が老衰により死亡

2003(平成15). 1. 10 フクロウとタカの森完成

2004(平成16). 3. 31 リスザルドーム完成
4. 1 十代目園長に藤沢武就任

2005(平成17). 3. 31 ふれあい教室用建物完成
4. 1 年間パスポート発売
12. 9 園内動物病院完成

2006(平成18). 3. 27 展望レストハウス完成
4. 1 十一代目園長に金澤信治就任
6. 27 円山動物園リスタート委員会設置

2007(平成19). 1. 28 開園3年目に来園したアジアゾウが老衰により死亡
3. 22 札幌市円山動物園基本構想策定
8. 30 市民動物園会議設置

2008(平成20). 3. 27 類人猿館屋外放飼場改修、ビーバーの森、ドサンコの森、ニワトリ・ウサギ広場及びエゾシカ・オオカミ舎完成
4. 1 アニマルファミリー制度運用開始
7. 30 園内にコンビニエンスストア セブン-イレブン円山動物園店開店
8. 10 札幌市円山動物園基本計画策定

2009(平成21). 3. 1 自然体験ゾーン円山動物園の森完成
4. 1 十二代目園長に酒井裕司就任

2010(平成22). 2. 10 猛禽類野生復帰施設完成
3. 18 エゾヒグマ館完成
3. 31 昆虫館閉館
9. 30 白鳥池、キッドランド「円山子供の国」閉鎖
10. 6 韓国大田広域市との姉妹都市提携を記念し、オール・ワールドの動物園にコモンリスザル8頭を贈り、ブチハイエナ2頭の寄贈を受ける（平成22年10月22日姉妹都市提携）

2011(平成23). 1. 31 開園60周年記念事業としてスノーフェスティバルの規模を拡大し、入園料を無料とした

2011(平成23). 3. 24 は虫類・両生類館完成
3. 27 は虫類館閉館

2012(平成24).	1. 1	開園60周年記念事業として正月三が日の入園料無料をスタート
	4. 1	十三代目園長に見上雄一就任
	12. 12	寒帶館、高山館、熱帶雨林館からなる「アジアゾーン」完成
2013(平成25).	4. 20	遊具広場「まるっぽ」完成
	10. 31	台灣台北市立動物園と協力関係樹立の覚書締結
2014(平成26).	4. 1	十四代目園長に田中俊成就任
	12. 1	モンキーハウス改修
2015(平成27).	2. 1	熱帶鳥類館改修
	4. 1	さっぽろ円山動物園サポートクラブ発足
	8. 21	マレーグマ「ウッチャー」の死亡事案に係る改善勧告書受理
	10. 23	環境局参与に小菅正夫就任
	10. 24	サル山改修
	10. 31	「アフリカゾーン」一部公開
2016(平成28).	4. 1	十五代目園長に加藤修就任
	4. 1	開園時間及び休園日変更
	8. 22	「アフリカゾーン」全面公開
	8. 28	熱帶動物館閉館
2017(平成29).	1. 11	カンガルー館改修
	2. 28	北海道大学大学院獣医学部医学研究科・獣医学部との連携・協働に関する協定の締結
	10. 20	ホッキョクグマ館完成
2018(平成30).	3. 13	ホッキョクグマ館オープン
	9. 5	台風による倒木の影響で緊急閉園
	9. 6	北海道胆振東部地震に伴う停電の影響で緊急閉園（～9/9）
	9. 20	ゾウ舎完成
	11. 30	アジアゾウ4頭がミャンマー連邦共和国から来園
2019(平成31).	3. 12	ゾウ舎オープン
	3. 20	札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」策定
2020(令和 2).	3. 1	新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした「北海道緊急事態宣言」により休園（～3/31）
	3. 30	札幌市円山動物園ビジョン2050「第1次実施計画」策定
	4. 1	屋内休憩スペースの閉鎖等を行い開園
	4. 14	臨時休園（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～6/2）
	6. 3	すべての屋内施設を閉鎖し開園（～6/30）
	12. 24	開園70周年記念ロゴデザイン決定
2021(令和 3).	1. 1	～開園70周年記念事業が開始。地下鉄全駅や円山公園駅ホーム柵に動物のポスターを掲示。
		その他、周年記念ロゴをモチーフとした民間企業とのコラボレーション商品制作、発売を実施。
	4. 1	十六代目園長に神賢寿就任
	4. 19	1日の来園者数の予約上限を8,000人とし、完全予約制を開始
	4. 24	来園者数の予約上限を8,000人から5,000人に変更
	5. 6	臨時休園（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～7/11）
	8. 28	～臨時休園（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～9/30）
	9. 30	セブン-イレブン円山動物園店閉店
	10. 31	来園者の完全予約制を終了
2022(令和 4).	6. 6	札幌市動物園条例の制定
	6. 6	動物園応援基金設置
	7. 15	園内にミュージアムショップ・円山開店
2023(令和 5).	3. 9	札幌市円山動物園動物福祉規程施行
	4. 1	十七代目園長に柴田千賀子就任
	4. 1	札幌市動物園条例の全部施行
	4. 1	「さっぽろの動物園ステップアップ制度」開始
	8. 19	北海道で初となるアジアゾウの繁殖に成功
	10. 21	リニューアルした正門ウェルカムボードを公開
	3. 28	札幌市豊平区さけ科学館をさっぽろの動物園ステップアップ制度の準認定施設に登録
2024(令和 6).	5. 21	オランウータンとボルネオの森オープン
	6. 17	札幌市円山動物園ビジョン2050「第2次実施計画」策定
	3. 5	AOAO SAPPOROをさっぽろの動物園ステップアップ制度の準認定施設に登録
2025(令和 7).	1. 14	博物館法における「博物館」に登録
	4. 1	十八代目園長に白水彩就任